

平成 25 年度第 1 回評議会議事録

日時：平成 25 年 9 月 28 日（土）午後 7 時 03 分から 8 時 51 分

場所：新歯学部大会議室（旧学部大会議室の真上 3F）

出席者（順不同・敬称略）：多和田、野村、佐藤定、福島、鈴木一、野内、大島、鮎川、有松、櫻井、山村、谷地田、斎藤、大岩、本間、生田、清水、新垣、依岡、岡崎、小島、真柄、佐藤啓、内藤（24 名）

事務：五十嵐

委任状：50 名

会を開始するのに先立ち、内藤専務理事補佐より出席者と委任状をあわせて過半数を超えており、評議会成立要件満たしている旨報告があった。

1. 会長挨拶

多和田会長より、募金のお礼（7 月に 1 千万円）の報告と、事業についての深い理解のために、本会議での質問・提案をお願いしたい旨、挨拶があった。

2. 平成 25 年度事業報告及び活動計画

【学術部】資料に基づき福島副会長より報告があった。

1) 平成 25 年度歯学部同窓会総会・学術講演会の開催

日時：平成 25 年 4 月 20 日（土）午後 5 時 10 分～午後 6 時 40 分

会場：ときめいと

講師：井上 誠先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食・嚥下リハビリテーション学分野）

演題：「嚥下機能とその障害—生理学から分かること・分からないこと—」

参加人数 約 50 名

2) 平成 25 年度新潟大学歯学部同窓会セミナーの開催

第 1 弾：講演会 I

「顎関節症の患者立脚型の治療体系」

日時：平成 25 年 5 月 26 日 10:00-12:00

定員：50 名

会場：歯学部大会議室

担当：新潟大学医歯学総合病院 顎関節治療部

荒井 良明先生

受講料：3000 円（テキスト代を含む）

参加人数 54 名

第 2 弾：講演会 II

1（歯科）医療における感染対策の基本と CQ

2 歯を知り、材料を知り、明日から活かす Provisional Restoration

日時：平成 25 年 10 月 20 日

定員：50 名

会場：歯学部第三講義室

担当および講演内容：

9:30-10:50 新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野 教授 高木 律男先生（1）

11:00-12:30 新潟大学医歯学総合病院 歯科総合診療部 助教 奥村 暢旦先生（2）

受講料：4000 円（テキスト代を含む）

参加希望人数 9 名（平成 25 年 9 月 12 日 現在）

第 3 弾：講演会 III

1 医療コーチングの講演：「ビジョン設定とやる気の微妙な関係」～医療コーチングを医院で活かす～（仮題）

2 コンポジットレジン修復のポイント-歯を知り、材料を知り、MI を実践する-

日時：平成 26 年 2 月 9 日

定員：50 名

会場：歯学部第三講義室

担当および講演内容：

9:30-11:00 財) プラスビューカレッジ理事長 新潟大学歯学部非常勤講師 小林 富貴子先生
(1)

11:00-12:30 新潟大学医歯学総合病院 歯科総合診療部 講師 石崎 裕子先生 (2)
受講料：4000 円 (テキスト代を含む)

3) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会への出席

第 28 回 朝日大主管 平成 25 年 8 月 24 日 (土) ~25 日 (日) 岐阜市に櫻井先生 (学術理事) が出席
連絡会の報告 (櫻井先生)：

- ・来年度は東北大が主幹で6月14, 15日開催予定
- ・3年後の主幹校を新潟大歯学部へ依頼されたが引き受けるかどうかについて
→学術委員会としては辞退する方針→最終的に受け入れる方向で準備
理由：テーマが学術の範囲を超えて全歯懇レベルの話となっている。
2日間にわたる講演、懇親会等の準備は学術委員会の力量範囲を超えている。
学術委員会としてこの連絡会に参加する意義を見いだせない。
今後、年会費だけは払う。
このことは三役会議で検討していただく。

趣旨は親睦と情報交換の場であるが、テーマは開催校で自由に決められるので、1 日開催で学術的内容にする予定であることが報告された。

4) 学術情報の発信：HP を随時更新 <http://www.dent.niigata-u.ac.jp/alumni/index.html>

平成 26 年度の学術活動計画

1) 平成 26 年度歯学部同窓会総会・学術講演会の開催

日時：平成 26 年 4 月 (土) 日時未定

定員：未定

会場：未定

講師：山村健介教授 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食環境制御学講座 口腔生理学分野)

演題：未定

2) 平成 26 年度新潟大学歯学部同窓会セミナーの開催

第 1 弾：シンポジウム「介護保険と訪問診療の実際」

日時：平成 26 年 5 月 予定 日時未定

定員：未定

会場：未定

→臨床研修医支援部理事の14期の有松美紀子先生がコーディネーターでシンポジウムを予定

- 1、訪問診療の実際 (木戸寿明先生 本学 22 期生 新潟県歯科医師会地域保健部員 新発田歯科医師会)
- 2、口腔ケアについて、介護保険の使用の仕方 (野村隆先生 本学 19 期生 新潟県歯科医師会地域保健部員 新潟市歯科医師会)
- 3、歯科衛生士の仕事について (高橋純子DH 歯科衛生士会下越地区会長 胎内市役所・健康福祉課高齢福祉係、

4、もう一人現役の歯科衛生士、未定

野村副会長より、老年歯科医学会と共催して欲しい旨依頼があった。

第2弾：講演会 全国的に有名な衛生士さんの講義（実習）

日時：平成26年10月予定 日時未定

定員：未定

会場：未定

受講料：未定

第3弾：ハンズオンセミナー：口腔外科の基本手技-習得しよう口腔外科医のテクニク-（仮題）

日時：平成27年2月予定 日時未定

定員：未定

会場：未定

担当：新潟大学大学院医歯学総合研究科 組織再建口腔外科学分野：小林正治教授、講座スタッフ

定員：未定

内容：未定

受講料：未定

3) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会への出席予定：

東北大が主幹で平成26年6月14,15日開催予定、出席は未定

4) 学術情報の発信：HPを随時更新 <http://www.dent.niigata-u.ac.jp/alumni/index.html>

5) 今後の検討課題

- ・『専門的知識の充足を目的としたハンズオンセミナー』は年1回の予定（平成25年度はなし）
- ・保存、補綴の基本的なハンズオンセミナーも検討していく。
- ・同窓生にも講演者を広く募集する。
→1期生の米満正美先生、小林清吾先生、2期生の高木裕三先生に今後打診してみるか。
- ・各専門分野でガイドラインに沿って治療を進めていくのが主流になってきているので、ガイドラインに準拠したセミナーも検討していく。

【総務部】 野村副会長より報告があった。

各同窓会会議の運営

【渉外部】 資料に基づき内藤専務理事補佐より報告があった。

- 1) 歯学科6年生・口腔生命福祉学科4年生との交流会：同窓会説明会を兼ねて9月13日開催
- 2) 準会員への援助支出：
運動会（6,000円）、歯学祭（70,000円）、SCRIP（30,000円）への援助
- 3) 同窓会入会式：未定
- 4) 卒業祝賀会・謝恩会への出席（3/24）
- 5) 卒業生への記念品：未定
- 6) 学生表彰（該当者があれば）
- 7) 歯学科44期生・口腔生命福祉学科7期生ネームプレート作成：歯学部大型改修が終了するまで保留。

【広報・名簿部】 資料に基づき野内副会長より報告があった。

- 1) 同窓会誌第34号の編集・発行（平成26年3月発行予定）

2) 歯学部ニュース「同窓会だより」への原稿投稿

→25年度第1号に投稿(総会時講演会)

3) ホームページの更新

4) メールマガジンの配布

5) 同窓会名簿(25年度は増補版)の発行

6) 連絡先不明会員の調査の継続

→42期生(研修医修了学年)を集中調査したところ、45人中28人(62%)の4月以降の住所を集めることができた。(他は提出がなかったというだけで、残り38%全員が住所不明者という意味ではないので注意)

住所不明者は卒後すぐに発生するので、研修医が終わるタイミングで調査したことが報告された。

※ 同窓会誌第33号発行に関して:広告料回収完了(12社、21万円)

【福利厚生部】資料に基づき谷地田理事より報告があった。

今までの活動報告

1) 「同窓会のしおり」(平成24年度分)発行

2) 平成25年度総会後の懇親会の開催

4月20日(土)「チサンホテル」参加者:19名

3) 慶弔関係業務

小林正治先生(13期生)組織再建口腔外科学教授就任(4/1付)お祝い金3万円

泉健次先生(18期生)生体組織再生工学分野教授就任(6/1付)お祝い金3万円
結婚祝電サービス2件

4) 歯学部ニュースの発送業務

平成24年度分発送終了 決算

5) 緊急代診医相談窓口の運営:緊急時代診医登録(受諾)会員の更新・募集

6) 求人・求職支援事業の検討・運営

7) 歯科医院継承支援事業の検討・運営

今後の活動計画

1) 「同窓会のしおり」(平成25年度分)発行準備

2) 慶弔関係業務

3) 歯学部ニュースの発送業務

平成25年度分の購読者取りまとめと予算案

別紙:年間約3万円の赤字が発生しているが、繰越金があるので当面1,500円でやっていくことが報告された。新潟県支部会員への歯学部ニュースは新潟県支部で配布

4) 緊急代診医相談窓口の運営:緊急時代診医登録(受諾)会員の更新・募集

5) 求人・求職支援事業の運営

6) 歯科医院継承支援事業の運営

【会計部】資料に基づき内藤専務理事補佐より報告があった。

1) 同窓会収支の管理:木伏経理事務所に会費納入管理の委託、会費納入のお願い、振込依頼書発送

2) 自動口座振替システムの管理と拡張→キャンペーン開始

平成25年6月:申込者19名(メモリ:10、クオカード:9)

7月：申込者 21 名（メモリ：10、クオカード：11）

8月：申込者 1 名（メモリ：0、クオカード：1）

（参考）平成 22 年度：20 名、23 年度：23 名、24 年度：19 名

手続きの煩わしさを飛び越えるインセンティブがあるので、今後継続を検討することが報告された。

3) 年度末の督促状発送

4) 平成 24 年度決算報告、25 年度予算立案

5) 長期会費未納者からの会費徴収策（救済策）の検討

6) 学生との交流会で、会費の前納制度を説明

→学生に主旨を理解してもらい、納入率を上げるためパンフレットを配布

【女性会員支援部】 資料に基づき有松理事より報告があった。

4月9日 野村修一教授 なつかしの先生コーナー配信

5月16日 第1回女性会員支援部会

7月11日 臨床研修医支援部と女性会員支援部合同部会

（はびすまカフェ企画検討）

・ 安齊さや香さんが福島転出で理事を退任

（第1回）新外来棟見学会 & はびすまカフェ

日時：10月19日（土）午後3時から5時

場所：歯学部病院会議室

講師：櫻井直樹さん（歯学科17期卒）

登坂友貴さん（口腔生命福祉学科2期卒、大学院博士後期課程3年）

主旨 ①若手歯科医師、DH 卒業生の交流の場を作りたい。

②女性歯科医師が今後も増えることから、結婚や仕事と家庭の
両立などの将来像をアドバイスする場を作りたい。

③いずれは交流会を通して出逢いの場も提供できれば・・・

④若手のみなさんに同窓会を意識してもらおう（会費納入含めて）

対象 卒後10年以内の若手歯科医師と口腔生命福祉学科卒業生

定員 30名（要予約）現在4名の申し込み

参加費 無料

多和田会長より、若い人を取り込み同窓会離れに歯止めをかけて欲しいと発言があった。

【準会員・臨床研修医支援部】 資料に基づき有松理事より報告があった。

第4回研修医支援塾開催

5月23日（木）17時半～18時半 セミナー室にて

演者 登坂勤務医先生（40期）

上村先生 矯正科大学院生（42期）

小松歯周科医局長先生（スイス留学体験談と専門医について）

参加者 研修医26名（32名中）

配布資料

1.メルマガ案内 2.求人求職情報 3.新潟大学カード申込書 4.専門医への道（各専門医HP）

☆新外来棟見学会 & はびすまカフェ

女性会員支援部との共同企画
女性会員支援部の項参照

【三役】資料に基づき内藤専務理事補佐より報告があった。

1) 平成25 年度歯学部同窓会総会の開催

日時：平成25 年4 月20 日(土) 午後

会場：ときめいと

2) 全歯懇（鶴見大学当番校）、国歯協（徳島大学当番校）への参加

（日時：平成25年10月26日、27日予定）

佐藤副会長、野村副会長、岡田理事が出席予定。

3) 他大学同窓会設立周年記念事業等の参加（不明）

* 卒業式出席（全学の卒業式を含む）：3/25

* 五十嵐で図書館竣工式：4/2

* 入学式出席：4/5

* 農学部同窓会創立60周年記念式典・祝賀会に出席：6/8

* 長野県支部は創立30 周年開催：6/15

* 人文・法・経済学部同窓会創立 60 周年記念式典・祝賀会に出席：7/6

* 工学部創立 90 周年記念祝賀会に出席：7/6

4) 歯学部大規模改修にあたっての募金活動

平成 24 年秋より募集開始し当初 24 年 12 月までの募集。これを平成 25 年 12 月まで 1 年間
募集期間を延長した。

目標額の 1, 000 万円を突破：7/9

会長より、新潟大学・全学同窓会交流会が 10 月 26 日に開かれるが、同日に佐藤副会長、野村副
会長、岡田理事は全歯懇へ出席するので、ぜひ多くの方に全学同窓会交流会に参加して欲しい旨
発言があった。全学同窓会交流会懇親会費は同窓会で支出するので、先に各自振込をして支払い
いただき、当日返金することが報告された。

3. 協議題

1) 会計用ノートパソコンの新規購入について

パソコンの新規購入が承認された（1 台はデスクトップ、1 台はノート）。

保存書類はスキャナで保存するので、ドキュメントスキャナも合わせて購入することが承認された。

2) サービス依頼書について

下記のサービス依頼書が原案に一部修正を加えることで承認された。

承継支援依頼書：補足事項追加

クラス内連絡業務支援依頼書：毎年利用しても良い、返信用はがきも同窓会が負担する。クラス会が
活発になれば、同窓会全体が活性化することが報告された。

府県内在住同窓会員連絡業務支援依頼書（個人レベルでの支援なので、支部がある場合は例外）

その他として、「歯科医院の売却依頼書」の必要性が報告された。

3) その他

同窓生が勤務先でトラブルに巻き込まれたときの相談窓口を同窓会に設置することが提案され、三役で
同窓会での対応を検討することが承認された。トラブルを未然に防ぐために、交流会の場で事例を紹介し

て注意喚起することが提案された。

豪雨での同窓生の被害について、災害は自己申告制なので、連絡があれば福利厚生で対応することが報告された。

清水群馬支部長、生田福井支部長、本間新潟支部長より近況報告があった。